

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 消防団員技能習得検定制度

自治体名

長野県小諸市

消防団名

小諸市消防団

1 事業の目的

人口減少と若年層の価値観の変化により、消防団員数の減少は避けては通れない課題である。少ない団員で市民の安全安心を守るため、団員個々の知識と技能レベルを向上させる必要があるため、消防のプロとしての団員を育成する。

2 事業内容

人口減少による地域防災力の低下を防ぐため、団員個々の技術知識レベルを向上させ、市民の安全安心に寄与するため、効果的かつ効率的な団員の教育プログラムの開発を考案し事業を展開した。

団員が恒常的に学べる環境を提供(毎週1回教育プログラムを実施)し、参加は任意とした。

技能習得レベルを4段階(初級Basic、中級Intermediate、上級Advanced、熟達Expert)に設定し、それぞれのレベルに応じた検定試験を実施し、合格者にはレベルに応じて色分けしたワッペンを交付し、左肩に明示した。

3 事業成果

6月～9月 団員への事業内容説明会(計11回実施)

9月 全団員へテキスト(令和7年度消防団幹部実務必携)を配布

10月 教育プログラムを開始(毎週木曜日)

・初級 消火基本(筒先操作、基本注水姿勢、ホース取扱い、とび口操作)

救助基本(ロープ結索)

訓練礼式

・中級 交通法規(緊急車両の特例、緊急車両の通行区分)

水力学(トリチェリの原理、パスカルの原理、ベルヌーイの定理、摩擦損失)

ポンプ運用(構造、連成計、圧力計、背圧、揚水、中継、送水)

※上級、熟達は次年度実施予定

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	7回	11回	
教育プログラム参加率	率	30%	12.6%	
検定習得者	人数	200人	16人	

